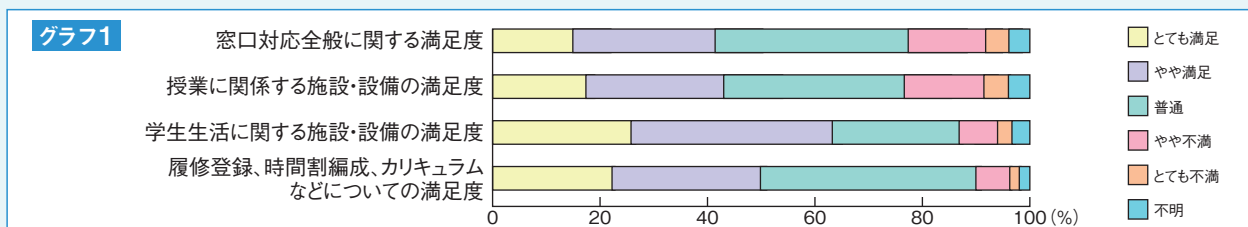


【実施日程・調査方法】 2010年度「学生による教育環境改善のためのアンケート」は、2011年1月7日から17日の間に実施しました。このアンケートは「学生による授業評価アンケート」とともに指定クラスの授業内において教員から学生に直接配付し、授業欠席者、指定クラスを履修していない学生に対しては自宅宛に送付しました。回収については、指定クラスの学生代表者による窓口への提出を基本とし、それ以外は学内投函箱へ提出、郵送により提出する方法をとりました。また大学院生についても同様に配付・回収を行いました。

このアンケートは学生・院生のみさんから、意見を広く集めることを目的としており、4つの設問に対し、満足度を5段階「①とても満足②やや満足③普通④やや不満⑤とても不満」であらわし、設問ごとに自由記述欄を併設し実施しました。

【集計について】 アンケートの回収は、学部・大学院の学生を合わせて対象とした8,787名の内、3,081件のデータを回収することができ（回収率：約35.1%）、学部・大学院それぞれ所属別・学年別に満足度の集計を行いました。満足度の結果は**グラフ1**の通りですが、詳細については自己点検・評価活動のホームページをご覧ください。自由記述については、全てタイプ打ちし、個人を特定できないように資料を作成し、その内容については「授業評価アンケート」同様、個別の公表は行いませんが「フィードバックコメント」として大学からの回答をホームページに掲載します。



【今後について】 今後は「事務局自己点検評価委員会」を中心に、アンケート結果に基づく問題点を抽出し、その検討および改善に取り組むことを予定しています。なお、活動状況・改善報告等については、アンケート結果に対してのフィードバックコメントとして回答するとともに、適宜、大学ニュースやホームページにて報告します。

【フィードバックコメントの概要】

1. 2010年度の教育環境改善報告

窓口対応など

- ・「窓口対応スローガン」ならびに「窓口対応に関するガイドライン（行動基準）」を心がけ、前年度に引き続いてこれを励行することで窓口対応レベルの引き上げ、均等化するよう取り組んだほか、研修やOJTなどによるスキルアップを図りました。
- ・業務取扱に関する検討を行い、窓口の受付業務や施設利用時間について可能な限り拡充を図りました。
- ・掲示方法の見直し、ホームページの積極的活用、課内ミーティングの強化などにより、学生に対してわかりやすい情報伝達に努めました。これに関連し、学生が大学の情報を一括管理できる仕組みとして、学生向けポータルサイトの検討を行いました。

教育施設

- ・東棟が完成しました。
- ・中央棟1階に「教育研究支援センター」と「英語学習サポートルーム」を設置しました。
- ・6棟1階の多目的トイレ改修を通じて、学内多目的トイレのスタンダードモデルを確立しました。

学生生活施設

- ・部室棟の代替施設となる「学生センター（仮称）」の建設に着手しました。
- ・学外研修所（新甲子セミナーハウス）の食事について品質向上に努めました。
- ・分煙施設計画の策定に着手するとともに、分煙や喫煙マナーの啓発活動に努めました。

2. 2010年実施のアンケートに対するフィードバックコメント

窓口対応について

全部課室において「窓口対応スローガン」ならびに「窓口対応に関するガイドライン（行動基準）」を励行するよう、引き続き取り組みます。特に、学生との相互理解を意識した対応に心掛けます。

業務取扱時間について

業務取扱時間については前年度と同様、随時検討を行っています。

案内・告知について

大学から発信される様々な情報を学生が個々に管理することができる、学生向けのポータルサイトを2011年度から導入します。

教育施設・学生生活施設について

4棟、5棟の老朽化に対する指摘については、新たな教室棟の建設計画を踏まえ改善を図りたいと考えます。

東棟における上層階への移動（エレベーター）に対する意見については他の教室棟と同様、できるだけ階段の利用をお願いし、エレベーターの利用は身障者や高齢者の方が優先されるようご協力をお願いします。また、教室の広さ（特に小教室）については旧来の教室と比べると手狭に感じられると思いますが、授業や試験に支障が生じないことを配慮した結果、

やむを得ない点があります。こうした点については今後の教室棟計画の際、改善を図りたいと考えています。

空調に関しては、季節や個人差により要望が異なっており、全面的な解決を図ることは非常に難しい点であると認識しています。一方、本学では前年度より継続的な省エネ、CO₂削減のための取り組み（空調エネルギーの削減など）を行っており、また、今年度は東日本大震災の影響により、事業所として一層の省エネ（節電）対策が求められています。学生の皆さんには省エネ、CO₂削減へのご理解とご協力を求めたいと思います。

アリーナ、グラウンドの利用については昨年度と同様、体育会所属団体以外の団体・個人利用を望む意見が多数寄せられていますが、これまでもアリーナ、グラウンドを一定の時間帯で利用することを可能としてきました。これらの利用については多くの学生の利便性を高めるべく、各所管において協議やガイドラインの策定を行っています。

学生食堂に関して、食事のスペース、食の提供に関する解決策としては学生センター（仮称）内にスペースを設けることを検討していきたいと思えます。こちらとあわせた形で、学生食堂の座席占有解消についても方策を検討していきたいと思えます。また、同窓会の協力を得て今年中に35周年記念館1階にコンビニエンスストアを設置することが決まっています。店名や営業時期などは決まり次第、ホームページや大学ニュースでお知らせします。これらと同時にマクドナルドの跡地利用についても考えていきたいと思えます。メニューの価格や工夫、営業時間の延長などについては食堂運営業者との懇談会などを通じて改善を要望し、「日本一の学生食堂」を目指した取り組みを行っていきたく考えています。

部室棟に対する意見は既存の棟のみならず、学生センター（仮称）移転の際に対処を望んでいる意見として受け止めています。今回寄せられた施設や運用等に関する意見は可能な限り反映させられるよう努めていきたいと思えます。

学外研修所については、周知がなされていないという意見がありました。新甲子セミナーハウスは、福島県西白河郡西郷村にある本学の研修施設です。詳細については学生課学生生活係までお問い合わせいただくか、大学ホームページをご覧ください。

その他

学内の各種販売所に対する指摘（価格、品揃え、態度など）については例年通り、それぞれの業者に伝達し、問題がある点は改善を申し入れてまいります。

喫煙・禁煙の要望については、当面の間「完全分煙」という方針に基づき、様々な施策を講じていきたいと思えます。

最後に、今年度予定されている学内の工事に際しては、学生の皆さんの安全を確保し、授業等の妨げにならないよう配慮したいと思います。また、東日本大震災の影響についてはできるだけ学生生活に支障が出ないよう配慮したいと思います。また、節電等、社会的要請がなされる取り組みについては学生の皆さんにもご理解、ご協力をお願いしたいと思えます。

この記事に関する詳細は「自己点検・評価活動のページ」をご覧ください。 http://www.dokkyo.ac.jp/jikotenken/a04_01_j.html

※大学ニュース4・5月合併号にてお知らせしました「学生による授業評価アンケート」結果（数値データのみ）と結果に対するフィードバックコメントは、現在、教務課、図書館、学生会にて閲覧することができます。閲覧の際は、お近くの職員までお知らせください。